

県立学校の給食における異物混入について

県立廿日市特別支援学校において、提供された給食に異物（プラスチック片のようなもの）が混入する事案が発生しました。

1 概要

- (1) 発生日 令和8年5月25日（月）
- (2) 発生場所 県立廿日市特別支援学校（廿日市市宮内 10877-2）
- (3) 原因 調査中
- (4) 発覚までの経緯

県立廿日市特別支援学校中学部2年4組の教室において、給食として提供された、ひじきを使用したサラダを担当の教諭が喫食中、口の中に異物を感じ、吐き出したところ、異物が混入していることが判明した。

当該教諭から連絡を受けた教頭及び栄養教諭が、異物を確認したところ、長さ2cm程度の黒いプラスチック片のようなものであることを確認した。

※ 当該校及び阿品台分校（廿日市市阿品台西6-1、以下「分校」という。）の給食調理は、給食調理委託事業者（以下「事業者」という。）が行っている。

〈混入した異物〉



2 事故発覚後の対応

- ・ 異物が発見された時点で、ほとんどの児童生徒は喫食を終えていた。児童生徒に対し、校内放送により注意喚起を行った。
- ・ 各教室において、児童生徒に異常がないか、各担任等が健康観察を行った。
- ・ 事業者に対し、異物の特定、混入経緯、改善策について報告するよう求めた。
- ・ 本校及び分校の児童生徒の保護者に対し、文書により事案の説明を行った。
- ・ 現時点で、その他の異物混入や児童生徒の健康被害は確認されていない。

3 今後の対応

- ・ 事業者に対し、検収や下処理作業、調理作業など、各工程における異物混入防止の徹底について指導する。

4 児童生徒数

(1) 在籍児童数

本校 196人（小学部118人、中学部61人、高等部17人）
阿品台分校 108人（高等部108人）

(2) 発生日の児童生徒数

本校 174人（小学部105人、中学部57人、高等部12人）
阿品台分校 83人（高等部83人）

(参考資料)

○廿日市特別支援学校及び阿品台分校の給食調理委託事業者
広島駅弁当株式会社（広島市東区矢賀五丁目1-2）

○県立学校における令和8年度の給食への異物混入状況
令和8年度は、4校で6件発生している。

※ いずれも健康被害は生じていない。